4　指導計画

主題

ふれあい　感じ　つながり合おう
～おじいちゃん・おばあちゃんとなかよくなろう～

主題に関わる日々の活動

課題日記
詩や俳句，テーマ日記などの課題を与えることで，子どもたち一人一人の思いや考えを引き出し，その思いを大切にすることで，担任との心の交流を図り，一人一人の自尊感情を高める。また，それを読み聞かせることで，相互理解を図る。

読み聞かせ
地域のボランティア，図書委員，担任の読み聞かせを通して，豊かな感性を育てる。

朝のスピーチ
朝の会で1分間スピーチの場を設定し，一人一人が自分の考え，思いや願いを自信をもって語ることができるようにするとともに，友達を分かり合うことができるようにする。

今日の出来事
帰りの会でその日のうれしかったことやありがとうを発表することで感謝の気持ちを育て，自尊感情を高める。

なかよしタイム
異学年集団(なかよし班)での交流を積極的に行い，上学年児童の行動を手本にするとともに，下学年児童への関わり方を学ぶことができるようにする。

これまでの学習

行動や見た目の違いによって偏見をもったり差別したりすることが誤りであることに気付き，互いの違いを認め，違うことのすばらしさを認め合うことができるようにする。

○道徳　「こん虫博士」（県道）
「たった一度だけの」（ひかり）
「女だから？男だから？」（ひかり）

○総合的な学習の時間
「ふれあい　感じ　つながり合おう」
～介助犬ユーザーの方と色えん筆画をかこう～

○図画工作科「色えん筆画」

現在の学習

擬似体験をしたり高齢者と交流をしたりすることで高齢者への感謝や尊敬の気持ちをもつとともに，同じ人間として互いの人権を大切にしようとする態度を養う。

○総合的な学習の時間
「おじいちゃん・おばあちゃんとなかよくなろう」
～おじいちゃん・おばあちゃん調査隊～　10時間
・アンケート
・インタビューをしよう(夏季休業日中の課題)
・ぎじ体けんをしよう

「おじいちゃん・おばあちゃんとなかよくなろう」
～老人保健施設での交流を通して～　10時間
・老人保健施設のひみつをさがそう
・みんなが楽しい運動会にしよう（本時6/10）

これからの学習

高齢者との交流体験から，共につながり生活していくために，自分たちにできることを考え，広く伝えようとする態度を養う。

○総合的な学習の時間
「おじいちゃん・おばあちゃんとなかよくなろう」
～知らせよう　わたしたちの活動～

主題と教科・行事との関連

道徳
「落ちていたキップ」
「なかまはずし」
「泳げた二十五メートル」

図画工作科
「人権ポスター」

体育科
「毎日の生活とけんこう」

学校行事
「運動会」

音楽科
「にっぽんのうた　みんなのうた」

道徳
「手づくりの野球広場」

国語科
「もうどう犬の訓練」

道徳
「病気じゃないんだけどなあ」

児童会活動
「人権週間」
・交流から学んだこと
・手をつなごう集会
「人権集会」

社会科
「さぐってみよう　昔のくらし」

５　本時の学習

（１）目標

互いの違いを認め合うとともに，高齢者の立場に立って自分たちにできることを考え，実践しようとする態度を養う。

（２）個別人権課題名　高齢者

（３）展開

学　習　活　動	指　導　上　の　留　意　点
１　前時までの活動を思い出し，本時のめあてをつかむ。	○　高齢者との交流の写真や前時までのワークシートを活用する。
みんなが楽しい運動会にするために，自分たちにできることを考えよう。	
２　グループで考える。	○　擬似体験の写真を提示する。 ○　付箋，ホワイトボード，マーカーなど，児童が自由に使えるようにしておく。 ○　「話合いおたすけカード」を活用し，自分たちで話し合うことができるようにする。
３　途中経過をグループごとに発表し，意見を出し合う。	○　理由も付けて発表することができるように声をかける。 ○　自分の考えが整理しやすいように，ワークシートを用意する。 ○　友達の感想を聞くことで，話合いの助けとする。
４　本時のまとめをする。	○　次時の交流会計画づくりへの意欲付けをする。

（４）評価

〈価値的・態度的側面〉

互いの違いを認め，高齢者の立場に立って自分たちにできることを実践しようとする意欲が高まったか。

〈技能的側面〉

高齢者の立場に立って自分の意見を言ったり，他のグループの発表を聞いたりすることができたか。